JRTU 九州労組

九州旅客鉄道労働組合
No.468（2020.7.16）
福岡市博多区博多駅前３丁目13－4
TEL　０９２－４７２－７９５０(代)
URL　http://www.jr-krwu.org
発行人/中原博徳　編集人/吉田春菜

LINE@

JR九州労組中央本部会議室にて行われた大会の様子

第29回 定期大会

組合員・家族の雇用と生活を守り 労働組合の役割と意義を発揮しよう！

ＪＲ九州労組は7月9日、中央本部において、第29回定期大会を開催し「安全の確立」「組織強化・拡大」「チャレンジ２０２３の具現化（労働条件の向上）」「政策課題の解決」などを柱とした２０２０年度運動方針を決定した。

本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ＪＲ九州労組初の書面による議決とした。議長に清水敬伍代議員（北九州支部）を選出し、２０２０年度運動方針をはじめとする全ての議案が代議員の同意確認書により賛成多数で採択されたことを確認した。来賓にはＪＲ連合の北村労働政策部長が出席し、連帯の挨拶をいただいた。

未だ収束を見せないコロナウイル感染症に加え、今月初旬に発生した令和2年7月豪雨の復旧など、課題は山積しているが、このような時だからこそ、組合員・家族の雇用と生活を守り、労働組合の役割と意義を発揮すべく意思統一を図った。

「出会い」「ふれあい」「語り合い」こそが労働組合の原点

中原中央執行委員長挨拶【要旨】

日頃よりＪＲ九州労組の運動にご協力をいただいている組合員の皆さんに感謝申し上げる。また、新型コロナウイルス禍のなか、ＪＲ九州の安全・安定輸送の確保やお客様への感染防止等に懸命に努めていただいていることに敬意と感謝を申し上げる。

■新型コロナウイルス感染症について

まずは、渦中にある新型コロナウイルス感染症の拡大防止に引き続き全力を挙げて取り組むほか、危機的状況にある会社経営を支えるべくＪＲ連合と連携して取り組んでいる固定資産税減免等の支援策実現に全力を挙げ取り組むこととする。

緊急事態宣言解除時に政府から示された「新しい生活様式」が求められるなか、私たちの働く環境も変化を余儀なくされているが、組合員とその家族が将来にわたって安心して生活できる環境を築いていくためこれからもしっかりと地に足をつけた運動を展開していかなければならない。

■安全の確立

引き続き「すべてのＪＲ関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を最重点テーマに掲げ、協力会社・グループ会社も視野に入れた安全最優先の企業風土構築に向けて取り組むこととする。

安全・衛生の取り組みについては、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大によってよりクローズアップされた課題と言える。安全衛生委員会の充実・強化を図る取り組みについて強化していく。

■組織の強化・拡大

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴いＪＲ発足後初めてとなる一時帰休（休業）が導入されることとなったが、導入にあたっては、労使協議を通じ、賃金が減額されないことの保障を確認した上で労使協定を結ぶとともに、グループ労組とも連携を図り、休業に対する助言や指導を行ってきた。こうした状況から労働組合の存在意義・必要性・世話役活動の重要性を再認識されているのではないか。仲間に寄り添い、助け合い、信頼される労働組合となるよう、引き続き組織の強化・拡大に全力を挙げていく。

■政治政策課題の取り組み

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、会社の経営基盤を支える産業政策に対する取り組みにも力を入れていかなくてはならない。既に固定資産税・都市計画税の減免等、コロナ後の社会変容への対応策も含めてＪＲ連合と連携して取り組んでおり、今年度の補正予算や次年度予算・税制改正での実現を念頭に置き、ＪＲ連合国会議員懇談会・議員フォーラムへの働きかけを強化していくこととする。

また、自然災害による鉄道設備被害からの早期復旧に対する支援や減災・防災の観点からの支援についても同様にＪＲ連合、ＪＲ連合国会議員懇談会、議員フォーラムと連携し取り組んでいくこととする。その上で、こうした政策的課題の解決にあったっては、政治力を背景とした取り組みが重要になってくることからも各種選挙における推薦議員の必勝に向けて取り組むとともに、組合員の政治参画意識の醸成に取り組むこととする。

■労働政策課題の取り組み

「チャレンジ２０２３」で目標とする更なる労働条件の向上や働き方の見直し等の実現に向け、当面する２０２０年度労働協約改訂交渉に全力を挙げ臨むこととする。我々の最大の労働条件である「賃金」については、今春闘で「ベアゼロ」という厳しい結果に至ったことを真摯に受け止め、２０２１春闘においてもベア獲得を念頭に闘いを展開していくこととする。取り巻く環境がこれまでになく厳しいことは想定されるが、ＪＲ九州グループが将来に亘って発展しいくためにもこの難局を乗り越える原動力となる組合員の頑張り、協力の必要性を粘り強く訴え、短期的対処法では無く、中長期視点に立った判断からの対応を求めていくこととする。

更に、今春闘で会社から考えが示された「賃金制度の一部見直し」について、幅広い組合員の意見等を集約しながら具体的議論の俎上に乗せていくこととする。

■最後に

「ＪＲ連合ビジョン」に掲げる理念「出会い、ふれあい、語り合い」は様々な職場に集う仲間が系統や職責の違いを越え、一人では解決できないことをみんなで力を合わせて解決していく労働組合の原点を意味している。ＪＲ九州労組はこの理念のもと、責任労働組合としてこれからも力強く運動を展開していくことを決意し、執行部を代表しての挨拶とする。

議長を務めた清水代議員

ＪＲ連合 第29回定期大会

ＪＲ連合は6月16日、東京都内で第29回定期大会を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面による議決とし、大会はＷｅｂによるライブ配信も行われた。ＪＲ九州労組の参加者はＪＲ九州労組中央本部の会議室から配信を視聴し大会に参加した。

執行部を代表して挨拶した荻山会長は、「緊急事態宣言による外出自粛などによりＪＲグループ全体で１兆円規模の減収となった。まずはこのダメージを克服し、ＪＲが社会的役割を果たし続けられる経営体力を回復するための対策に全力で取り組む。また、収束後の社会の変化に対応し、雇用を守り、ＪＲ産業の発展を持続させるためには健全で責任ある労働組合と労使関係が必要である。労働組合としても、仲間に寄り添い、助け合い、信頼される組織の強化に力を入れるとともに、ＪＲ産業に働くすべての仲間で力を合わせていくためにもＪＲ連合への総結集を呼び掛ける」と訴え、ＪＲ連合ビジョンの実践の決意を語った。

今、時代は大きな変革期を迎えており、ＪＲ労使が胸襟を開いて意思疎通し、危機感を共有して政治や行政などを巻き込みこの難局を乗り越えなければならない。ＪＲ連合は、ＪＲの責任産別としてＪＲ産業の未来を切り拓き、組合員と家族の幸せを実現するべく、積極果敢に運動を展開していく決意を示し、Ｗｅｂ上での「団結ガンバロー」で大会を終了した。

中継を見ながら九州で参加するＪＲ九州労組の参加者たち

芦原書記長 集約答弁【要旨】

今回、代議員の皆様から頂いたご意見は今後のＪＲ九州労組運動に反映することをお約束するとともに、運動の基調として提起している4点をもとに集約的立場に立って答弁させていただく。

■安全確立に向けた取り組みについて

昨年の大会以降、鉄道の安全では、踏切無遮断によるインシデントが2件発生し、労働災害については、触車・墜落といった重大事象が発生するなど、グループ会社、協力会社において増加傾向にある。

特に労働災害に目を向ければ、定められたルールが守られていないことが主な原因となっており、単純にルールを守れと指導するのではなく、守りにくいルールなのか、守らなくてもいいと思われているのか、守らない風土が蔓延しているのか、現場実態や労働者の意識に踏み込んだ対策が必要である。また、新型コロナウイルス感染拡大により、職場の安全衛生管理のあり方がより顕在化した。

いずれにしても、平時でない今こそ足元の現実をしっかり見つめなおす必要があり、ＪＲ連合が掲げる「すべてのＪＲ関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」の理念に呼応しながら、全ての基盤である安全の確立に向け、職場に根差す働く仲間の信頼の上に活動する労働組合の強みを活かし、安全および衛生について、現場から多くの声を発信していただくことを要請する。

■組織強化・拡大の取り組みについて

ＪＲ産業・ＪＲ九州グループ、至るところで雇用への不安が渦巻いており、労働組合の必要性が改めて社会の中で強く認識されている。「ＪＲ連合ビジョン」の浸透と実践を通じ、自組織の強化およびグループ会社の組織化に向け、主体的かつ具体的な行動を展開する決意を全体で確認したい。

ＪＲ連合民主化闘争については、一昨年発生したＪＲ総連・ＪＲ東労組のスト戦術を契機とした組合員大量脱退、さらにはＪＲ東労組の分裂、新労組・新産別が発足するなど組織瓦解が一気に加速している。一方で、分裂、新労組の結成は革マル組織が分派され、事態が深刻化したと言わざるを得ない状況となっている。

民主的で将来をしっかりと見据えた正しい価値観を持った労働組合は必要不可欠であり、組合民主主義の原則に基づき民主化支援単組として共に闘う決意を再度固め合いたい。

また、組織の強化なくして組織拡大の実現は厳しく、「ＪＲ連合ビジョン」に記されたあるべき労働組合の姿を追い求め、いま一度、現場段階での日常的なコミュニケーションの徹底と組合活動の原点である世話役活動の献身的な取り組み、重要性を全員で共有し、組合員の目に見える職場からの運動を通じ、組織拡大のうねりへと繋げるべく主体的な運動を創り上げて頂くことを要請する。

■諸労働条件向上に向けた取り組みについて

中期労働政策ビジョン「チャレンジ２０２３」で定めた目標達成、社会変容を踏まえたあるべき働き方の実現に向け、労働の価値を高めるべく総力を挙げて取り組むこととする。

長期安定雇用を基本とした就業形態であるＪＲ産業において、何よりも重要なことは、「人」への積極的な投資であること、人材の確保・定着といった視点や不合理な格差の是正、個々のニーズあった多様な働き方を含め、あらゆる労働条件の着実な改善を図っていく必要がある。

また、２０２０春闘妥結時において、会社から賃金制度の一部見直しについて勉強するとの考えが示されたことからも、労使でしっかりとした議論を重ね、丁寧な合意形成をもって私たちの主張を会社施策に反映させるべく取り組みを展開するとともに、当面は２０２０年度労働協約改訂交渉に全力で臨むこととする。

■政策課題の実現に向けた取り組みについて

ＪＲ連合が提唱する「チーム地域共創」「チーム公共交通」の形成にむけた運動は、ＪＲ九州労組にとっても重要であり、交通重点政策意見交換などの取り組みを通じ、引き続き内外への情報発信に取り組むこととする。

また、自然災害が多頻度化・大規模化し、その被害が甚大となる傾向の中、豊肥本線については改正鉄道軌道整備法の適用第1号として8月8日に運行再開予定となったが、今なお、日田彦山線が不通となっている。日田彦山線の復旧にあたっては、1日でも早い復旧が待ち望まれる中、持続可能な交通体系の最適解を導き出す必要性の議論が進むなど、展開を見せている。

これらの課題解決およびコロナ禍ダメージへの政策対応、各種重要政策課題の解決に向けて、引き続きＪＲ連合をはじめ、ＪＲ連合国会議員懇談会、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム、ＪＲ九州労組議員団会議との連携を図りながら、ＪＲ九州グループのさらなる経営基盤の確立に向け、取り組みを展開していくこととする。

私たちの政策課題実現のためにも、労働者保護のためにも行動が必要である。今後行われる中間地方選挙において、組織内議員をはじめ推薦候補者全員の必勝に向けて、組合員・家族の引き続きのご協力をお願いする。

■最後に

今回のコロナ災禍により大きな社会変容を強いられ、ＪＲ産業・ＪＲ九州グループにも大きな影響を及ぼすこととなる。私たち労働組合としても世話役活動の原点である直接対話を基本としつつ、大きな社会変容を受け止めなければならない。

会社を取り巻く経営環境の変化、組織運営のあり方については、変化に順応しつつ、守るべきものと変えるべきものとを正しく峻別しながら丁寧に対応していくこととする。

中央本部として、今後1年全力で取り組んでいくことをお約束するとともに、全組合員が一致団結し、この難局に立ち向かうことを互いに確認し合い、集約答弁とする。

※今回の大会は書面開催となったことから、代議員・特別代議員に事前に議案書等の資料を送付し、発言を募った。そして担当部の答弁を代議員・特別代議員へ回答し共有している。その内容についてはＪＲ九州労組ホームページに掲載する。

大　会　宣　言

本日、私たちは、福岡市「ＪＲ九州労組中央本部」において、第29回定期大会を開催した。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面による議決としたが、2020年度の運動方針をはじめとする全ての議案が承認された。

最優先課題である安全・安心な鉄道の確立については、「すべてのＪＲ関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」の達成に向けて、全力で取り組むこととする。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、その重要性が再認識された職場の安全衛生活動の一層の充実強化に注力していくこととする。

一企業一労働組合の達成に向けた組織強化・拡大の取り組みについては、組合運動の原点となる世話役活動の強化を図りながら、未加入者の一掃を組織拡大の重要な柱として捉え、「ＪＲ連合ビジョン」に基づき積極的な活動を展開していく。また、社会変容を見据えた労働環境に対応すべく、ＪＲ九州連合と強固に連携し、ＪＲ九州グループに集う全ての働く仲間の集結に取り組んでいくこととする。

「チャレンジ2023」の具現化に向けた取り組みについては、具体的な中期目標の達成に向けて労働協約改訂交渉や2021春季生活闘争に全力で取り組むこととする。更に長期安定雇用の維持、人材の確保・定着に向けて、賃金引き上げの流れを継続・定着させるとともに総合生活改善に取り組んでいくこととする。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、「新しい生活様式」の定着による公共交通の利用抑制等の懸念も生まれている。こうした社会変化に伴う政治的政策課題の解決に向けてＪＲ連合・ＪＲ九州労組議員団会議等と連携した取り組みを強化する。また、中間地方選挙をはじめ、私たちの政策に賛同する推薦候補者全員の必勝に向けて全力を挙げて闘うこととする。

社会生活が大きく変わろうとしている今、労働組合の役割と意義の発揮が求められている。私たちには、ＪＲ九州労組の運動を発展させ、より強固な組織をつくりあげていく責務がある。山積する様々な課題に対して組織の総力を結集し、積極果敢に取り組むことを本大会の総意として決意する。

以上、宣言する。

２０２０年７月９日

九州旅客鉄道労働組合
第２９回定期大会

2019年度 優秀分会・機関紙コンクール結果

2019年度に分会活動の活性化や広報活動の充実に寄与した機関を表彰する「優秀分会」「機関紙コンクールの優秀作品」が決定した。各種表彰については、第29回定期大会が書面開催であることから、各地本・支部の定期大会等で行うこととする。

優秀分会表彰は、分会執行委員会の定例開催や総対話集会・署名活動への参加状況、職場集会やレクリエーションの開催等を考慮している。

機関紙コンクールは、コンクールへの応募があった中から、発行部数や発行体制のほか、紙面の見やすさや親しみやすさ等を考慮し選出している。

今後も、組織強化や分会活動の活性化、広報活動の充実に向けて、関係各位のご協力を要請する。

◎優秀分会表彰

【最優秀分会】
北九州電気連合分会
熊本乗務センター分会
鹿児島乗務分会

【優秀分会】
品質管理課分会（小工）
業務管理課分会（小工）
博多新幹線乗務所分会
北部駅連合分会（大分）
大分運輸センター分会
長崎乗務センター分会
吉松地区分会
鹿児島地区連合分会

◎機関紙コンクール

【最優秀賞】
くまもと
（熊本地方本部）

【優秀賞】
運管ＴＲＹ
（運行管理分会）
なんしよっと博多支部
（博多支部）

LINE@
JR九州労組公式アカウント
登録がお済みでない方は、ＬＩＮＥアプリの「友だち追加」から右のＱＲコードを読み取るか、ＩＤ検索により登録をお願いします。
ID：@yqw2478t